

平成29年度第3回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 平成29年11月6日（月）午後2時00分から

2 開催場所 小牧市役所東庁舎大会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 西部支配人

名鉄バス(株) 取締役

あおい交通(株) 代表取締役

水 野 泰

近 藤 博 之

松 浦 秀 則

(服部直樹 代理)

小牧タクシー(株) 代表取締役

兼 松 雅 春

公益社団法人愛知県バス協会 専務理事

古 田 寛

愛知県タクシー協会 副会長

小 川 健 司

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

伊 藤 匠 二

小牧市区長会 連合会長

公共交通利用促進協議会 会長

小 柳 松 夫

小牧市区長会 連合副会長

平 川 克 治

小牧市女性の会 会長

酒 井 美代子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯 部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

岡 田 英 雄

愛知県 振興部 交通対策課主幹

桑 原 良 隆

(塚崎有里 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

船 坂 透

犬山市 市民部 地域安全課長

百 武 俊 一

豊山町 産業建設部 地域振興課長

高 桑 悟

小牧市 健康福祉部長

廣 畑 英 治

小牧市 都市建設部長（建設担当）

平 岡 健 一

小牧市 都市建設部長（都市整備担当）

渡 辺 学

(2) 事務局

小牧市 都市建設部次長（都市整備担当）

牧 野 治

小牧市 都市建設部 都市政策課主幹

河 村 昌 二

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係長

松 浦 善 行

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主事

亀 谷 俊 太

小牧市 都市建設部 都市政策課交通政策係主事補

上 條 稔 貴

株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店
株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店
株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店
株式会社中部速記センター

小 林 良 治
加 藤 洋 司
渡 辺 一 真
原 口 千 秋

(3) 傍聴者

1 名

4 議題

小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について

5 報告

- (1) 「名古屋空港シャトル便」について
- (2) とよやまタウンバスのルート及びダイヤ変更について
- (3) パブリックコメントの実施予定について

6 会議資料

- 資料 1 小牧市地域公共交通網形成計画（案）
- 資料 2 小牧市地域公共交通網形成計画（案）における修正事項一覧表
- 資料 3 『名古屋空港シャトル便』企画

7 議事内容

【事務局】（亀谷主事）

定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。ただいまから平成 29 年度第 3 回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日、議事録を速やかに作成するため速記を入れさせていただいておりまして、お手元の机の近くにマイク等を配置してありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

事務局を代表いたしまして、都市建設部都市整備担当次長の牧野よりご挨拶を申し上げます。

【事務局】（牧野次長）

改めまして、皆さんこんにちは。

本日は、ご多忙の折、本会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、本日は、前回までの会議でご承認いただきました小牧市地域公共交通網形成計画に関し、全体を通しまして時点修正や文言修正など一部の見直しを行いましたので、その内容についてご協議をいただきたいと考えております。

本日の会議は、小牧市地域公共交通網形成計画の策定に当たり、パブリックコメント実施前の最後の会議となりますので、委員の皆様にはよろしく願いを申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶と代えさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】（亀谷主事）

本日の出席委員ですが、委員総数22名に対しまして19名であります。過半数に達しておりますので、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

まず、事前にお配りさせていただいておりますが、本日の次第、資料1としまして「小牧市地域公共交通網形成計画（案）」、資料2としまして「小牧市地域公共交通網形成計画（案）における修正事項一覧表」。また、本日お配りさせていただきましたが、資料3として『『名古屋空港シャトル便』企画』でございます。

これらの資料につきまして、本日お持ちでない方や不足、乱丁等ございましたら、事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

また、本日は、あおい交通株式会社代表取締役の松浦委員に代わりあおい交通株式会社小牧東営業所所長の服部様に、愛知県振興部交通対策課主幹の桑原委員に代わり愛知県振興部交通対策課主任の塚崎様にそれぞれご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

それでは、会議を始めるに当たりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

皆様、こんにちは。会長を務めております磯部でございます。

11月になって秋だなと思うんですけど、今日は結構暖かくて秋だということを忘れてしまうんですけれども。

交通の話でいきますと、いろんな話題がございますけれども、一つは、ユニバーサルデザインタクシーというのがトヨタ自動車さんから発売されまして、日産の車と合わせて市内に出回り出したという形であります。自動車会社としても、より乗りやすい車を提供し始めたということがございます。

一方で、まだ実験段階ですけれども、愛知県内でもいろいろな箇所で公道での自動運転の実験をやっているところであります。聞くとところによりまして2020年の東京オリンピックのときには本格的に走りたいねという話題がありますから、ひょっとしたら一気にそういう流れが来るかなという話もございます。

あとは、自動車の話をしますと、どんな動力、エネルギーで動くかというのがかなり今自動車業界で悩んでおるようであります。今までだったらガソリンとか軽油を使うのが当たり前だったんですけれども、オイルショックの頃からいろいろと言われてはいるんですけど、油がなくてもできるようにという話で、今の水素とか、ハイブリッドとか、電気だけでいいんだとか、いろんな話がございます。

外国を見てみますと、中国は電気でいくんだと、これは日本にとってうれしい話であります。中国で煙を出されますと日本へ来ますから、大変なことになりますからいいことだなと。フランスのある地域でも電気でいくんだという話も結構ありまして、じゃあ日本はどうするかなんていうのが

いろいろと。まだ技術力の勝負をしているところであって、どれかに落ち着くわけじゃないという形だそうでありますけれども。どっちにしても、ここで言いたいのは、利用者に使いやすく、安くて便利な乗り物であってほしいなということがあります。

そういうふうに地域の交通に役立つような乗り物に発展していただけるといいかなと思っておりますので、そういった観点からも、これからのこういう計画もひょっとしたら5年後に今と違う乗り物が走っているかもしれないなというのを想像しながらやる時代かなと思いますので、また皆さんも想像力を高めて議論していただければと思っています。

よろしくお願いいたします。

【事務局】（亀谷主事）

ありがとうございました。

今後の議事の進行につきましては磯部会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

初めに、本会議は公開が原則となっております、本日は1名の方から会議傍聴の申し出があり、これを承認いたしました。

それでは、議事を進行してまいります。

議題「小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」であります。この件につきまして、事務局より説明を求めます。

【事務局】（松浦係長）

議題の説明に先立ちまして、本日の説明方法についてご説明申し上げます。

小牧市地域公共交通網形成計画の策定につきましては、これを支援する業務について委託をしているところであり、当該委託の仕様書に基づき、受託者であります株式会社国際開発コンサルタンツ名古屋支店よりご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】（国際開発コンサルタンツ 加藤）

それでは、議題「小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」ご説明申し上げます。着座にて失礼させていただきます。

恐れ入りますが、お手元の資料1及び資料2をお願いいたします。

まず、資料1は、小牧市地域公共交通網形成計画（案）として、これまでの会議にて承認いただいた内容に対し、全体の流れに合わせ、時点修正や文言修正など一部見直しを行った資料でございます。前回までの会議資料からの修正箇所を赤字で表記しております。これらの修正箇所は、別途資料2の小牧市地域公共交通網形成計画（案）における修正事項一覧表において整理してございます。

本日は、資料2「小牧市地域公共交通網形成計画（案）における修正事項一覧表」を用いて主な修正箇所についてご説明申し上げますので、資料1「小牧市地域公共交通網形成計画（案）」も合わせてご確認をお願いいたします。

資料2の1ページ上段、表記の統一事項でございます。

こちらでは小牧市地域公共交通網形成計画（案）の全体を通して表記の統一を図った内容を整理しており、資料に示すとおり、1番と2番の図表番号、3番から10番の語句の統一、11番、12番の漢字の使い方のように、修正前の表記を修正後の表記へ統一を図っておるものでございます。次に、資料2の1ページ下段、その他の統一事項でございます。

こちらでは、小牧市地域公共交通網形成計画（案）の全体を通して統一を図った内容を整理しております。

主な統一事項として、3番に示すとおり、用語解説を資料1の159ページから162ページに追加しております。それに伴い用語解説が必要な語句や専門用語には、初めに登場した際に米印を付けるとともに、欄外に「参考資料 用語解説 参照」という記載を追加しております。その他、アルファベットや数字の表記、グラフの強調の仕方といった修正をしております。

資料2の2ページ、変更事項でございます。

こちらでは、先ほど説明しました統一事項以外の変更事項を整理しております。変更事項は細かいものを含めて全部で356項目となりますため、主な箇所のみご説明申し上げます。

資料2、2ページの7番をご覧ください。資料1では3ページでございます。

こちらでは、小牧原駅についてもバリアフリー化を実施していることから、小牧原駅のバリアフリー化について追記修正をいたしました。同様に、13番及び6ページの79番についても、小牧原駅のバリアフリー化に関して追記修正を行っております。

次に、資料2、4ページの30番をご覧ください。資料1では10ページでございます。

こちらでは、田県神社前駅の駅前広場整備について、平成29年3月にこちらの事業は完了し供用開始しておりますので、記載内容を時点修正しております。

次に、資料2、8ページの101番をご覧ください。資料1では、18ページ以降の上位関連計画の整理の部分についてでございます。

こちらでは、第6次小牧市総合計画新基本計画の内容を要約して記載しておりますが、本計画は公共交通の計画であることから、公共交通に関連する内容を要約して掲載するよう変更しております。また、8ページの104番、107番、108番、110番、10ページの113番についても同様に、各計画における公共交通に関する内容を要約して掲載するように修正しております。

次に、資料2、13ページの157番をご覧ください。資料1では52ページでございます。

こちらは、資料1の52ページの図Ⅱ－5－5に示すように、平成23年度から平成28年度の駅別の乗降客数の経年変化を確認するため、グラフの内容を変更しております。

次に、資料2、15ページの203番、16ページの209番、213番、218番、222番、225番、231番をご覧ください。資料1は68ページ以降の第3章についてでございます。

こちらは、調査ごとに節を設けてまいりましたが、各種アンケート調査としてまとめるよう修正しているところでございます。

次に、資料2、21ページの298番をご覧ください。資料1では108ページでございます。

こちらは将来像及び基本方針であります。将来像4の「交流を促進する交通体系」から、他の将来像と言い回しを統一するため、「交流を促す交通体系」へ修正しておるところでございます。

次に、資料2、22ページをお願いします。314番をご覧ください。資料1では124ページでございます。

こちらは、前回の地域公共交通会議でのご意見を踏まえ事務局で検討した結果、事業2－3交通結節点での待合環境の充実における事業内容として、バスやタクシーだけでなく、企業の送迎バス

やスクールバスを初めとしたその他送迎車両も含めた待合環境の充実を図ることとし、「バスやタクシー及びその他送迎車両の待合環境の充実を図る」という内容に修正しております。

次に、資料２、３１７番をご覧ください。資料１では１３２ページでございます。

こちらは、前回の地域公共交通会議でのご意見を踏まえ事務局で検討した結果、事業３－７鉄道のバリアフリー化における実施主体を「名古屋鉄道、国土交通省、小牧市」から「名古屋鉄道」に修正しております。

次に、資料２、２４ページをお願いします。３２７番及び３３２番をご覧ください。資料１では１４１ページから１４７ページでございます。

こちらでは、構成を見直し、新たな節として、「２．各事業と将来像及び課題の関係性」「３．各事業の実施主体とスケジュールの整理」を追加しております。

次に、資料２、２５ページをお願いします。３５６番をご覧ください。資料１では１５８ページでございます。

こちらは生活交通軸（バス）の見直しに関する記載になりますが、一部柔軟な対応を求められることから、「ただし、小規模なルート、ダイヤの変更については、ニーズを踏まえ、適宜見直しを図ります」という記載を追加修正しております。

主な修正箇所についての説明は以上となりますが、その他、時点修正や文言修正など軽微な見直しにつきましては、資料２にてそれぞれご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

以上で、議題「小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」の説明とさせていただきます。

【事務局】（松浦係長）

ただいまの議題の説明につきまして、事務局より１点補足説明がございます。

本日の資料につきましては、事前に送付させていただき委員の皆様にも前もってお目通しいただいているところでございますが、それによりまして事前に１点、中部運輸局愛知運輸支局の岡田委員よりご指摘がございましたので、ご報告させていただきます。

資料１、１５７ページをお願いいたします。

こちらでは、事業及び路線単位それぞれについて、図にてＰＤＣＡサイクルを表記しております。これにつきまして、事業のＰＤＣＡサイクルの中のＤｏの部分であります各種事業の実施、また、Ｃｈｅｃｋの部分でございます事業の評価・検証について、何を指しているのか読み取りにくいというご指摘、また、路線単位のＰＤＣＡサイクルにつきましては、次ページにて詳細が記載されておりますが、事業のＰＤＣＡサイクルにつきましては詳細な記載がないことについてご指摘をいただきました。

このご指摘に対しまして、事務局にて検討させていただき、ただいまお配りさせていただきました資料を１５７ページと１５８ページの間に追加させていただきたいと考えております。

この資料は、ＰＤＣＡサイクルの中のＰｌａｎの部分であります地域公共交通網形成計画の策定・見直し、及びＤｏの部分であります各種事業の実施につきまして、１４５ページの将来像、基本方針、目標、施策、事業の関係性の表を用い、Ｃｈｅｃｋの部分であります事業の評価・検証につきましては、１１０ページから１１３ページの評価指標を用い、事業のＰＤＣＡサイクルを詳細に示したものであり、１５８ページの路線単位の評価・検証とレベルを合わせさせていただいております。

先ほど申し上げましたが、こちらの資料を１５７ページと１５８ページの間に追加させていた

だきたいと考えております。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ただいま資料1と2で、前回から今日に向けて直したところのご紹介と、さらに追加という形で新しい紙、右下には「158」という数字がありますけれども、それがそのページよりも前に書いてあるところを要約した物を付けましたということでございます。

今までの説明に関しまして皆様の方で、または説明がなかったところもあるかもしれませんが、資料1が今の追加のページを加えましてパブリックコメントの資料という形になっていきますので、お気付きの点がございましたらご指摘いただければ助かりますが、いかがでしょうか。

【岡田委員】

愛知運輸支局の岡田でございます。よろしくお願いします。

先ほど1枚ペーパーを追加した形になったわけですが、全体像を後で見渡したときに、157ページの事業評価というところは、やはり評価指標をしっかり定めて、それに向かってPDCAを回すということがありまして。

110ページを見ていただきたいんですけど、このときには個別に計画の目標を定めていまして、評価指標も基準値、目標値というような、110ページから113ページまで詳細も付けて評価指標を定めているわけでありまして、157ページの評価にはなかなかそれがリンクしてきていないということがありまして。現状の158ページは、路線の詳細な評価はあるものの、事業の評価をしっかり書いておいた方がいいのではないかなということがありまして、今回事務局へ前もって提案させていただいて、そのまま入れ込んでもらっています。

私としては、やはり事業評価という部分のところも、PDCAサイクルには出ているんですけど、評価の指標とかをどこでどういうふうに書いて用いていくかというところをわかりやすく書いた方がいいんじゃないかなと思ひまして提案したところですので、それについても今日協議いただければと思っております。よろしくお願いします。

【磯部会長】

ありがとうございました。

追加をお願いしたのはそういう理由だということでございますので、お願いいたします。

何かありますでしょうか。今の話でもいいし、ほかの話でもいいですけど、いかがでしょうか。

【水野委員】

名古屋鉄道の水野でございます。

この後パブリックコメントを求めるためにこれをオープンにするということになると思うんですけども、そのタイミングが知りたい。

なぜならば、16ページの一番下の項目で「小牧原駅のバリアフリー化を実施した」というのが、これは平成30年3月ということになっていきますし、まだこれから実現されていく形になりますので、時系列的な整理がちょっと微妙な感じになるのかなと思いますので、その辺りを教えていただ

きたいと思います。

【事務局】（松浦係長）

まず1点目の、パブリックコメントの実施時期につきましては、後ほどまた説明させていただきますが、12月1日から来年の1月4日までの期間で実施したいと考えております。

こちらの計画の記載内容につきましては、こちらの計画自体は平成30年3月策定の予定ですので、3月の時点でこちらの小牧原駅につきましては実施済みというところで記載させていただいているところでございます。

以上でございます。

【磯部会長】

よろしいでしょうか。

そうすると、16ページのところに、どの時点でのという文言を入れた方がいいかなということですね。要するに、3月より前にパブリックコメントの材料として出るわけですので、名古屋鉄道さんとしては、その辺の前後関係が微妙だという話ですね。

【水野委員】

ちょっと微妙だなという、ちょっと気持ち悪さを覚えるだけなんですけど。

【事務局】（松浦係長）

今ご指摘をいただきましたので、パブリックコメントを実施するときに、文言の記載内容についての説明書きは付け加えさせていただきたいと思います。

以上でございます。

【水野委員】

もう1点いいですか。

資料132ページの事業3-7鉄道駅のバリアフリー化という形で、小牧口駅と田県神社前駅の2駅が出ております。確認したいんですけれども、田県神社前駅は、トイレとかの問題があるのかもわかりませんけれども、一応スロープとかそういった部分では既にバリアフリー化整備は達成しているんじゃないかなと考えているんですけれども、その辺りはいかがでしょうか。

【事務局】（松浦係長）

こちらの駅につきましては、名古屋鉄道のバリアフリー化整備を担当している部署に確認させていただいたところです。そちらの部署が言われるには、田県神社前駅につきましては、スロープ等ありますが、どうもその勾配がバリアフリー法の基準に適合していないことを聞いておりますので、法律的な観点では、今現在、田県神社前駅についてはバリアフリー法の適合対象の駅ではないということをお聞きしております。

以上でございます。

【水野委員】

承知しました。

【磯部会長】

その辺を今後直していくという話ですね、傾斜路などの整備もこれからやっていくという。ほかいかがでしょうか。

【小柳委員】

資料1、資料2に直接関係ないかも知れませんが。

今までここに至るまでに、アンケートの速報版、目標を達成するために行う事業等出されましたが、今回計画案ということで、これで最終になるのかなと思うんですが。この差し替えていただいたところは、前回、一宮市の駅の有料駐輪場になっているけど、小牧市の場合はどうなるんだという話をしましたが、今回は前回の資料から外して新しいものが掲載されております。それはそれでいいんですが。

目標を達成するために実施する事業のところでは私が申し上げたのは、様々な事業者がいっぱいいますので、それぞれの路線を持続可能なものにするために、時にはいろいろな工夫をして、時間帯あるいは料金等々を変化をさせて持続可能になっているわけですが。特に、こまき巡回バスの場合には、持続可能といっても、現状維持では実は行政の持ち出しが非常に多いということで、将来的に本当に持続可能な状態になるのかと。65歳以上は無料になっている、これから高齢者がどんどん増える中で、そういう形で本当にこまき巡回バスは持続可能なものになるのかどうかということに危惧するという思いを先回訴えたというふうに、そういう発言をさせていただきました。

もう一つは、桃花台に私は住んでおりますので、特に桃花台のバスの関係で。それぞれバス停が分かれておりますので、これが一元化していくということも言葉の中では申し上げていたんですが、それは今回は修正されていないということになります。今年実は市の予算でも、この桃花台センターの地域拠点の整備事業ということで予算化を一部されておりますので、こういう関係からして、これは10年20年先の話の計画になると思いますけれども、そういう中で一元化、集約していくと。段差のある所にバス停を設けるのではなくて、もっと利用しやすいように整備する必要性があるのではないかとということを申し上げました。その辺について質問をして答えをいただいているんですが、その辺の今後の問題について私はもう一度ここでお聞かせいただいております。

これは特に、地元でも説明会を私自身はやるつもりでおりますので、そんな関係で的確なご答弁を頂戴できればありがたいと思います。

【磯部会長】

一つ目は持続可能性ということで、財政的な話もちろんありますので、財政的とか組織的な対応とかいろんな事があるようですので、その辺どうなのかなと。今回ですと、どっちかという、交通網形成計画ですからいろんな形を作り上げていくということではかなり書き込んでありますけれども、その辺の持続可能性といったときの下支えになるようなことに対するご質問。

二つ目は、桃花台センターというのが前から懸念事項であったということでもありますので、その辺がどうなっているのかなということだと。

その二つですが、いかがでしょうか。

【事務局】（河村主幹）

主幹の河村でございます。

ただいま小柳委員から2点ご意見を頂戴いたしました件について、お答えをさせていただきます。

まず、こまき巡回バスの今後の持続性についてということかと思えますけれども、小柳委員が仰いますように、実は昨年度この交通網形成計画を策定するにあたりまして市民の方からアンケート及び地元6カ所で懇談会を開催させていただいた折に、こまき巡回バスの料金についてのご意見もそれぞれで聞かせていただいております。

65歳以上無料化ということで平成23年度からやらせていただいておりますが、今後の持続性というところ而言えば、利用者に関しましては、平成27年度は約49万人でしたが、平成28年度は約62万人、これは延べの数字でございますが、利用者の方が大分増えたということでございます。恐らく今年度、平成29年度に関しましては、ひょっとしたら70万人に届くのではないかとということで、利用者が増えている状況でございます。非常にありがたいお話であります、そのうち約66%が65歳以上の利用者の方でございます。

小柳委員が仰いますとおり、この65歳以上の方の無料化を、多少なりとも料金を頂戴させていただければ、いわゆる料金収入が増えまして持続性というのは今以上に高まるのではないかと感じております。先ほど申し上げましたアンケートや懇談会の中でも、多少、100円でも払ってもいいというご意見も頂戴しておりますので、今後の見直しの折には料金のことも考慮して検討していきたいと考えております。

もう一つは、桃花台センターのバス停の集約化でございますが、こちらは資料1の123ページ、事業2-1のところ、今後の事業ということで挙げさせていただいております。手前どもの都市政策課の別の係で、この集約化に関しましても今年度予算化して進めております。今後について、桃花台の市民の皆さんがより利便性が高まるようなバス停ということで計画しておりますので、よろしく願いたいと思います。

以上です。

【小柳委員】

この計画は「おおむね20年後の都市の姿を展望しつつ」という、こういう計画期間というのがあります。もちろんそれぞれ、5年後である平成34年度を目標年次として見直していくということがありますので、その時点で変えられるのかなと思いますけれども、現状では今言ったような話が文書化されておるということでいいのかなと。

65歳以上のアンケートを見ますと、料金を改定してもいいよというのが6.8%ぐらいあったと思います。そのほかの方は、現状維持ということが一番多かったと思いますけれども、そういうことから考えると、20年も先のことを今論じていることは、計画としてはあっても、それをつぶさに細部にわたって論じることにはできないと思いますが、一応5年で見直しするということであれば、これも適切に状況判断されて、また訂正されるなり改正されるということになると思いますので、この辺はそれで終わりにしたいと思います。

【岡田委員】

私も、小柳委員のところの65歳以上の無料化ということ。ほかの現状としまして、高齢者を何歳と見るかというところも非常に大きな話がありまして、65歳でも非常に元気だと、ある市町で

は75歳以上を対象としているところであります。

サービスとしてはいいサービスだと思うんですけど、やはり交通網形成計画は、5年計画して持続可能な公共交通、やはり収支率等もしっかり見ていかないといけないということで、138ページの運賃体系のあり方の検討にしっかり書くことは非常に難しいと思うんですけど、そこはやはり今後時代の情勢、高齢者免許証自主返納という動きがすごく早くなってきていますので、この5年の間にどうにかこの65歳以上無料化というものに何らかの形の措置をしないと、今後やはり財政的に非常に厳しくなるなというところがあります。書くことはできないにしても、そこは小柳委員と同じく、ぜひとも検討して、何らかの措置をできるだけ早いうちにやっていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

【磯部会長】

適正な負担というときに、何をもって適正かというのはなかなか難しいところでありまして。たまたま65歳以上の方を無料にしているというのが、ほかの市町に比べると手厚いということがあることは一つ事実ではあるんですけど、その辺をどういうふうに小牧市の特徴として活かしていくのか。もうちょっと別のところに特徴を活かしてお金が入ってくるような仕組みにした方がいいのかとか、いろいろと考えるところはあるだろうなと思います。

この計画としては運賃体系のあり方という漠然とした表現がしてありますけれども、この検討内容としてはいろんな方面から検討が必要だなと思います。

事務局側から何かこの辺お考えがあれば。

【事務局】（河村主幹）

いわゆる料金に対しての再編の時期は検討していくということでありますので、皆さんのいろんなご意見をお聴きながら今後進めていきたいと考えております。

以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございました。

恐らくほかの既存の乗り物、路線バスとかタクシーの料金体系とも微妙に絡んでくるんだろうなと。利用者としては、どれか選べるとしたら料金で選んでしまうこともあるので、いろんなその辺のことも出てくると思いますので、それで適正という非常に難しい言葉ですけども、皆さんともいろいろ考えていきたい、一緒に考えていくしかないなと思います。

【水野委員】

細かい話で大変恐縮ですけども、47ページのところで、ここのページは鉄道の小牧市さんにおける立地の説明をしているところかと思います。具体的には、小牧市内に6駅ありますよということが記述されておまして、それが下の路線図とマッチしているわけですが、実は路線図の小牧駅という赤いテキストボックスの下に小牧原駅が隠れてしまっておりまして、見た目5駅しかないような形になっていますので、この場合は隠さない方がいいんじゃないかなと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。

47ページの図面の表記ですね。赤文字というか赤丸が下の重要な情報を消しているの、それはちょっと工夫していただければということですね。表記の仕方ですので、よろしくお願いいたします。

ほかいかがでしょうか。大きい話題でも細かい話題でも構いませんけど。

そうしますと、今日のところで追加で158ページというのがありますので、これが入ってページが一つずつ送っていくという形の冊子として。あと、細かい指摘がございましたところも直しながら、素案という形にまとめ上げるということでございます。一応ここで議決をすることになりますけれども、何かその前に発言ございますでしょうか。

【小柳委員】

くどいようですが、私は桃花台に住んでいますので、桃花台のことをもう一度申し上げてみたいと思います。

今年の予算配分の中では780万円ということで、特に事業概要として、桃花台センター地区周辺は、交通結節点としての利便性の向上を図るため、バス停を集約化するなどの拠点整備の検討を行いますという説明があります。これは、どういう内容で予算措置をされたのか、平成29年度、わかりませんが。

実は桃花台のピアールは、ワンセンター方式で一つの商業施設があるんですが、ここは運営会社が変わる予定になっています。そういうことで、いろいろな関係者があそこのレイアウトをいろいろ要求してくるようになると思いますし、愛知県もあそこをどうしようかという検討をしていると聞いております。今あそこに駐輪場等々ありまして、新交通桃花台線を使うための駐車場だよという言い方を愛知県はしていますので、そうしますと、今あそこはどちらかというと駐車場が非常に利用が少ないことから、あそこを整備するという考えが将来出てくるはずだと私は思います。

したがって、バス停の集約化をするという、拠点整備を検討するということを今年度うたわれておりますので、そういう関係からすれば、ここ5年ぐらいには大きな変化があつてしかるべきだと私自身は思いますが、その辺のことをお聞きしておきたい。計画へ入れられるものなら入れてもらって整備を促進するというのが、私はぜひ計画の中に入れてもらいたいという思いが強いんですが。あまり強く言葉としてこだわりませんが、その辺の考え方だけお聞きしておきたいと思います。

【磯部会長】

今日の資料でいきますと資料1の123ページ、124ページ辺りのロータリーの集約化とか交通結節点の待合環境の充実とかいうところに桃花台センターのことも書いてありますので、その辺の具体的な内容。125ページもそうですかね。交通結節点関係の中に桃花台センターがありますけれども、一応全体に言葉として入っているんですけども、具体的にどのような内容で進めていくのかなというのが、ごく直近の話題のはずなのでどうかなというのを確認したいという、そういうご発言だと思うんですけど。

【事務局】（松浦係長）

小柳委員が言われたご指摘の事項につきましては、都市政策課の隣の係で桃花台センター地域拠

点整備という事業名で実施しているところをごさいますて、今後の事業の具体的なスケジュールがまだ見えていない状況でございます。そういったところから、今のところ、こちらの事業としては123ページの事業スケジュールという書き表しをさせていただいております。

今後事業が進み次第、どうしても実施主体というところで、こちらの拠点整備した折には名鉄バスさんなりあおい交通さんも関わってくる内容でございますので、そういった折にはこちらの地域公共交通会議にもご報告させていただきたいと思っております。

以上でございます。

【磯部会長】

ですから、大きく言えば、この事業2-1から2-4という枠組みには入っているということで、そのある特定地区に対しても今進めているし、準備をしているというご回答でございました。

ありがとうございます。

【岡田委員】

先ほどの関係とちょっと関連するところではあるんですけど、再度確認というか推進してもらいたいという、この計画に基づいた形で。

本来の交通網形成計画、下段の関連計画との位置づけということで、左の方にマスタープラン、立地適正化計画という、小牧市さんは立地適正化計画も作られて、これを一緒になってやっていく。国土交通省は車の両輪だと言っているところですけど。その中で、拠点別の将来像という148ページを見ていただきますと、それぞれの拠点地域を定めておりまして、まちづくりと相まって公共交通も充実していくよということをここに謳っていくわけですので、この5年計画、もちろん立地適正化計画の推進と相まって一緒に進める必要はありますが、その中で事業別なものもいろいろあるかと思うんですけど、ここも踏まえて、例えば先ほど言われました桃花台は154ページ、あと味岡駅は152ページ、中心も150ページ、そしてあともう一つ、私の一番気になるところは藤島地区、156ページ。このような形を拠点別にまちづくりと一緒に整備していくというふうになっておりますので、今後この網形成を策定した上で細かい事業を、これを基に作っていくということを前提に置いてお願いしたいと思っております。

【磯部会長】

ありがとうございます。

市全体も必要ですけども、逆に拠点というのを浮かび出させて、それに対する交通網のチェックというか、そういう手法という。交通網の作り方はいろいろあるわけですが、その両方要するという。全体と言うと、市外も含めてという全体になってくるんですけど、そういったものプラス地域を中心にして見たときの交通網という。これは地域の方々にとっては一番関心を持つところでもありますので、だからその辺の両方のアプローチがあることを強調されたということでございますので、どこかに入っているだろうと思えますけれども、事務局その辺の考え方が整理できていたら答弁をお願いしたいんですけども。

【事務局】（松浦係長）

岡田委員の言われるとおり、こちらの計画策定につきましては、やはりまちづくり、観光振興、

あと福祉施策との連携が一番重要となってきます。今回の中心拠点、地域拠点につきましても、都市計画マスタープランのまちづくりの計画に明記されている文言と連携をとりながらこちらの計画を策定してきておりますので、まちづくりの計画と連携し、交通網形成計画に基づきながら今後事業を実施していきたいと考えております。

以上でございます。

【磯部会長】

よろしくお願いいたします。

あといかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今までの資料１、２、追加の資料を付けて、あとは微調整をしたものをパブリックコメント用の素案という形にしたいと思いますけれども、決議に移りたいと思います。

議題「小牧市地域公共交通網形成計画策定状況について」ということでございますが、原案の方向で進めることにしてご異議ございませんでしょうか。

【全委員】

異議なし

【磯部会長】

異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。原案の方向で進めることとして承認されました。

本日の議題は以上でございます。

皆様に慎重にご審議いただきました。ありがとうございます。

続きまして、その他（１）「名古屋空港シャトル便」について、あおい交通株式会社の服部様からご紹介をお願いいたします。

【松浦（代理：服部）委員】

あおい交通の服部と申します。

平素は、弊社の各事業にご協力、ご理解を賜り、ありがとうございます。

名古屋空港シャトル便について、簡単に説明させていただきます。着座にて失礼します。

資料３をご覧いただきたいと思います。

今月の３０日にあいち航空ミュージアム、MR J ミュージアムがオープンすることもある、小牧市内から気軽に行ける足ということで考えております。

地域については、小牧市内から名古屋空港エリア。

運賃については、大人１名、片道１，０００円、子供は半額。原則２名以上の乗車といたします。

車両については、ジャンボタクシー９人乗りを使用することを考えております。

運行形態については、デマンド乗り合いとなっております。

乗降場所については、こまき巡回バスのバス停、またあおい交通のバス停付近、名古屋空港、あいち航空ミュージアムの前を考えております。

運行時間帯については、小牧市から空港の場合は、前日の午後３時までに予約をしていただくということで、空港着希望時刻が８時、９時、１０時、１１時、１２時、１３時、１４時、１５時。

また、空港から小牧市内へ帰る場合は、当日の2時間前までに予約をいただいて、空港発の時刻が13時半、14時半、15時半、16時半、17時半、19時。空港発というのは、あいち航空ミュージアムから定時出発、1時間に1便とします。お客様がいない場合は運行いたしません。

開始日は、平成30年2月1日より、半年間の実証実験運行としております。

以上のことを検討しておりますので、この場をお借りしてご報告申し上げます。

ありがとうございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

これは報告事項ということですので、この会議としては聞いておくということでございますけど、何かこの際ご質問がございましたら、いかがでしょうか。

【小川委員】

タクシー協会の小川でございます。

今ご説明というか、企画案ということでお話がありましたけれども、これはあおい交通さん単独の企画ということで出されたという認識でいいわけですか。これはあくまでも、あおい交通さんが企画されているということですね。

【松浦（代理：服部）委員】

今日は出席できなかったんですけども、社長に2、3要望みたいなことがあったと聞いております。

【小川委員】

今日は地域公共交通会議の場ですから、内容について議論する場ではありませんのでそれについては触れませんけれども。

我々も小牧市内でタクシー業者があるものですから、その辺り全く議論もなしでこういうようなのがいきなり、私も初めて見ましたものですから。料金体系も含めて何の相談もないものですから、これが一人歩きされると少し私共としてもというのがあるものですから、その辺のところの確認をさせていただきたいということです。

この場で議論しましょうということではありませんけれども、その辺りを少し認識だけしておいていただきたいと思います。よろしくお願いします。

【磯部会長】

その点、いろんな関係、多分国の方も関係すると思いますけれども、よろしくお願いいたします。

【岡田委員】

ここの一番最後に実証実験運行という意味合いが書いてありまして。制度面を説明しますと、本来の4条の乗合運行ではできない形態をとる社会実験で、21条と私等は呼んでいるんですけど、それにはやはり企画的なところの要望書とかがないと、例外的に認めるケースでありまして、半年実験の後にはしっかりとした乗合運行をしてもらわないといけませんよということは私共は指導す

る。

ここで、恐らく要望書を小牧市長さんなのか、そういう形をとられないと申請できないというふうになっておりますので、そこは社長さんは何らかの調整はして進めているとは聞いております。そういう形でないと申請自体ができないということになると思いますので注意してください。

【松浦（代理：服部）委員】

岡田さんの今おっしゃられたこと、また帰って社長に報告しておきます。

【岡田委員】

これは制度上実験ですので、今後、利用者が多ければやはり乗り合いとして運行してもらわないといけませんので、場合によって、そこも踏まえて、思い付き等でやられるのではなくて、やはり小牧市民のサービスとして定着するようであれば、そこも見据えた形でお願いしたいと思います。

【磯部会長】

手続的な話は重要でございますから、もう一度確認してください。

何かあと聞きたいことはございますでしょうか、これについて。よろしいでしょうか。

どうもありがとうございます。

続きまして、その他（２）「とよやまタウンバスのルート及びダイヤ変更について」、豊山町の高桑様からお願いいたします。

【高桑委員】

豊山町の地域振興課の高桑と申します。

日ごろは、とよやまタウンバスで小牧市さんにもお世話になっております。

本日は、この場をお借りしまして１点ご報告をさせていただきますので、よろしくお願いします。座って失礼します。

次第（２）「とよやまタウンバスのルート及びダイヤ変更について」ということでございますが、とよやまタウンバスの北ルートが、現在小牧市内の武道館北、小牧市民病院、小牧市役所前の３カ所を通して運行させていただいております。今回、豊山町でこの北ルートの変更を検討、あおい交通さんに運行していただいておりますので、あおい交通さんと調整しながらルートの変更を検討したいと思っております。来年の４月から変更したルートで運行したいと思っておりますが、それに向けて協議を進めてまいりますので、あらかじめ小牧市さんの地域公共交通会議にご報告させていただくということでございます。

具体的な小牧市内のバス停についての変更は考えてございません。豊山町内のルートの変更を考えております。それに伴いまして若干ダイヤの変更も生じてまいりますので、その点を併せて、また正式に決まりましたらこの会議でご報告させていただきますので、本日は検討を始めているということのご報告とさせていただきますたいと思います。よろしくお願いいたします。

以上です。

【磯部会長】

ありがとうございます。

豊山町の方での計画というか、進めているというご紹介でありました。

これについて何かご質問、お聞きしたいことがございましたら。よろしいでしょうか。

【小柳委員】

今まで僕は利用させていただいたことがないですけど、小牧市民も利用させてもらえるんですかね。

【高桑委員】

はい。乗車は小牧市民の方でも、豊山町民以外でも、どこの方でもご利用できます。

【小柳委員】

ありがとうございました。

【磯部会長】

どこかの時点で小柳委員が知りたい内容もご提示いただけるといいかなと、どれだけの利用者がいるかという話ね、単純に言えば。あると、今の小柳委員のような心配はなくなると思いますので、どこかの時点でそういう情報を提供していただければ助かるなと思っています。

よろしくお願いします。

ほかいかがでしょうか。

【百武委員】

犬山市役所の地域安全課の百武と申します。

豊山町様からご報告がありましたので。座って失礼します。

犬山市も、来年30年度に向けてダイヤとルートの変更を、今見直しております。豊山町さんと同じように、主には市内のバス停ルートの変更を考えております。

犬山市の特徴としては、今5台8路線で隔日運行しており、毎日運行していませんので、そこら辺の見直しをメインに進めておりますので、同じようにご報告をさせていただきたいと思います。

【磯部会長】

北の方の犬山市も見直しを図っているので、一部小牧市に入っているということでございますから、またこれもどこかの時点で小牧市の方が利用の状況とかがわかるといいなと思いますので、よろしくお願いします。

あといかがでしょうか。犬山市からも報告がありましたけれども。よろしいですか。

続きまして、その他（3）「パブリックコメントの実施予定について」、これは事務局からお願いいたします。

【事務局】（松浦係長）

それでは、次第3. その他（3）「パブリックコメントの実施予定について」、事務局より報告させていただきます。

パブリックコメントにつきましては、12月1日から来年の1月4日の期間で実施したいと考え

ております。

なお、計画案につきましては、今回の地域公共交通会議の協議を踏まえた内容を修正させていただきまして、パブリックコメントを実施する予定でございます。

最終的な計画案につきましては、実施前に各委員様あてに郵送させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、次回の会議についてでございますが、来年1月29日月曜日の午後2時より、本日と同じ東庁舎5階大会議室にて開催したいと考えております。内容につきましては、先ほど申し上げましたとおり、パブリックコメントの結果及び提出された意見に対する回答、修正案についてでございます。また、詳細につきましては後日改めてご通知させていただきますので、ご予約のほどよろしくお願いいたします。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

パブコメのやり方と、次回が年明けの1月29日という形で予定させていただきますので、皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

あと、その他ということで委員の皆様から何かご発言ありますでしょうか。

【岡田委員】

度々申し訳ございません。

次回が1月29日ということで、パブコメの修正等も踏まえてそこで策定案というか最終の案が示されると思うんですけど、平成30年3月に策定するというスケジュールを聞いています。その中で、どこかもう一度会議をやっていくのか、年度内は1月29日が最終という意味合いなのか。

先ほど豊山町さん、犬山市さんもありましたが、どこかで報告するというタイミングもあるものですから、もし決まっているようであれば年度内の予定ももう少し。

【事務局】（松浦係長）

今のところ、来年1月29日の会議が最終と考えております。

以上でございます。

【磯部会長】

1月29日で最終確認して、あといろんな手続きがあるんでしょうけれども、3月公表というか完成というか、どういう言葉を使うか知りませんが、ということでよろしいわけですね。

その他に何かございますでしょうか。

【船坂委員】

小牧警察署の交通課長の船坂と申します。

私からは、皆様方に、これから年末にかけての交通事故抑止のためお願いということで申し上げます。座って失礼いたします。

実は年末に向けてこれから交通事故が多発します。これは毎年そうなんです。そこで、皆様方に

ひとつ、今から申し上げることを持ち帰っていただきたいなと思います。

まず、日が短くなりますので、早目の点灯をしていただきたい。我々は今午後4時から点灯ということで、警察署の前の155号のところで、午後4時からボードを上げて、少数でありますけれども交差点で笛を吹きながら皆さんにお願いしております。

あとは、ハイビームの活用をよろしくお願ひしたいということです。ハイビームって普段やってはいけないというか、対向車とかに迷惑というか眩しいということでかえっていけないんじゃないかなと思われるけど、これは活用であります。これを必ずしてくださいというわけじゃありません。

道路交通法の中にハイビームをやってくださいとは書いてありません。ただし、対向車とか他に迷惑をかけるような場合はロービームにしましょう、前にちょっと落としてくださいというふうに文言があります。ということは、普段はハイビームだということで理解していただけると思います。これは活用でありますので、対向車が多いとき、妨害になるなと思われるときは必ず下に下げていただく。ただし、小牧市でありましたら、ちょっと郊外に出ますと暗い道があります。そういうときはハイビームを活用してください。歩行者等の発見が早くできますし、100m先もしっかり見えます。

我々が小牧署独自でDVDを作りましたときに照射実験をしましたところ、しっかりと見えますし、かつ反射材を付けていただくと、ロービームであっても100m先に何か光っているなという判断ができます。早く発見できれば、早い措置ができます。

それと、歩行者の方は、今言いましたけれども、反射材を付けていただきたいと思います。反射材を付けて早く発見してもらいたい、発見するということです。ライトを点けるというのは、何もこちらが周りが見えるだけではなく、向こうからの発見です。よく昼間でも、タクシーの運転手さんあるいは運輸のトラックの方、前照灯を点けて走っています。昼間であっても、何か来たな、車が来たなというふうに、ぱっと見られて来たなと思われる、そういう経験をされた方もみえると思います。

これから来年の1月、2月にかけて、午後4時から点灯の励行とハイビームの活用をよろしくお願ひしたいということと、暗くなって外へ出られるときは反射材を付けて、私はここにいますよ、車の皆さん気を付けてくださいというアピールをしていただきたいと思います。

日も短くなります。これから年末に向けてはつきり言って事故が増えてまいります。自分を守る意味でも、自ら守って事故に遭われないように、警察からのお願いであります。よろしくお願ひいたします。

以上です。

【磯部会長】

どうもありがとうございます。

ほかよろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして、平成29年度第3回小牧市地域公共交通会議を閉会いたします。皆様、どうもありがとうございました。